



美濃はつらつ通信



シヤガの群生 (有田上・一丁田)

世帯数	160世帯
人口	352人
男	162人
女	190人
高齢化率	48.6%
	(3月末現在)

美濃地区振興センター・美濃公民館

美濃地町イ140-1 ☎29-0031

好天に恵まれ2百人の人出

第9回美濃ふれあいサロン開催
春の恵みを楽しむ美濃ふれあいサロン「山菜祭り」が4月23日、にぎやかに開催されました。今回は9回目を数え、地元の食材を使った天ぷらやフキ飯、シシ汁などの里メニューを提供。歩行者天国となったサ

ロン前の通りでは訪れた人たちが里の味を楽しんだり、竹の子やワラビなどを買い求めていました。 次回のサロンは7月に「ひまわり祭り」を開催する予定です。

サロン前の通りは里グルメを楽しむ人たちで大にぎわい



好評だった山菜天ぷらとフキ御飯、ヤマメの塩焼き、シシ汁の里メニューセット



手づくり教室で楽しいひと時 可愛いらしいフクロウが完成!



完成した心とむフクロウの置物

端切れ布を活かして、小物づくりを楽しもうと、4月19日に美濃公民館集會室で“手しごとクラブ”が開催されました。

参加者6人は公民館の椋木輝美さんが作った教材資料をもとに、それぞれ教え合いながら可愛いらしいフクロウの置物を完成させました。

この手仕事クラブは今後、農繁期を除いた隔月のペースで開催される予定です。



和やかに小物づくりを楽しむ参加者

行方地区の人たち
河野商店前で交通安全の街頭指導を



事故にあわない、おこさない

交通安全を呼びかける街頭指導

春の交通安全運動中の4月10日、地区交通対策協議会(中島均会長)及び交通安全協会(大庭壽克支部長)による街頭指導が行われました。

出勤時間となる午前7時から、河野商店前の交差点に立った地区会員ら13人は、小野駐在所の中村拓郎巡査部長の指導のもと、ジャスミンの会手作りのマスコットを添えたピラを配るなどして約1時間、職場に向かうドライバーに交通安全を呼び掛けました。

塩街道に残る吉見氏ゆかりの史跡 —有田下・野中—

江戸時代、日本海の港に上がった海産物は傾城峠を越え、有田から山ヶ谷を通り河内、小川、そして津和野城下へと運ばれました。

その旧往還道筋の有田下・野中に、1800年ごろ“大日庵”という庵いおりがあり（創建年不明）、本尊の大日如来を中心に、左右に釈迦や薬師像など数々の仏像を配し、明治の初めごろまでは立派な構えが残されていたそうです。

その大日庵の庵主・澄川見流（1766～1824）は吉賀出身の医者で、自ら津和野旧城主・吉見氏の後裔と称し、医術にかけては優れた腕を持ち、遠方から診察や薬を処方してもらいに多くの人たちが訪れていたと伝えられています。

しかし文政4（1821）年、一人息子の玄隣が19歳で早世。その3年後の同7（1824）年に見流じんが58歳で亡くなりました。父子の墓は旧神田山屋敷だやまの上にあり、蓋石付きで吉見氏の定紋（丸に二）が入る立派な石碑二基が薄暗い森の中で存在感を示しています。二つの墓の側面には「吉見美洞守寄行公子孫」と刻まれています。これが石見吉見氏初代「吉見三河守頼行」を指すとすると、刻まれた文字に違いが見えます。これが意図したものかあるいは間違っ彫ったものかは謎です。

こうして旅人がかつて往来した古道沿いには、史跡が今も点在し、歴史ドラマを伝えています。



神田山墓地に置かれている大日庵に安置されていた仏像。現在は有田野中の

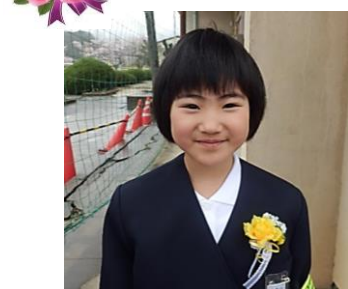


澄川見流の墓彫ってある吉見氏の紋が



有田から山ヶ谷に抜ける旧往還道の有田と美濃地の堺にあった大きな地蔵（現在、野中墓地に安置されている

ご入学おめでとうございます 中西小学校

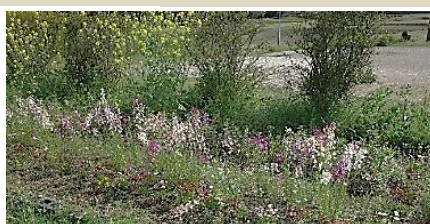


中尾 早希さん

中西中学校



大庭 晴輝さん 中島 綾音さん



可愛らしい花が咲きました！

中西中学校の美濃地区生徒3人が昨年12月植え付けた苗がこの春、可愛らしい花を咲かせ、公民館を訪れる人の目を楽しませています。

5月の行事予定

- 2日（火） 中西中自転車点検 11:00～
- 11日（木） 農業経営所得安定対策申請受け付け
- 15日（月） 第1回健康を守る会
- 19日（金） 第1回まちづくりプラン地区民説明会 19:30～
- 21日（日） 第2回まちづくりプラン地区民説明会 10:00～
- 27日（土） 自治組織設立総会 10:00～

5月の診療予定日

火曜日	木曜日
9日 神崎内科	11日 村野医院
	18日 中島クリニック
23日 神崎内科	25日 澄川クリニック

診療時間 13:30～